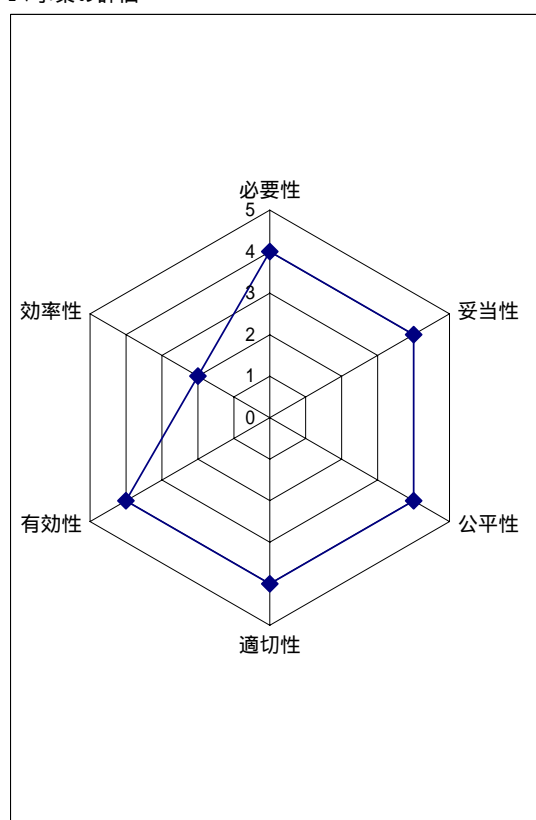


事務事業名	第4次拡張事業	担当部局	市長部局 上下水道部
基本目標	美しいゆとりある快適環境と景観づくり(環境・都市基盤)	担当課名	水道施設課
施策体系	安全で快適な暮らしづくり(水道水供給)	担当係名	工務係
施策	水の安定供給を進める		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	水道事業は、昭和40年に事業認可を得て供用を開始し、その後、第1次拡張から第4次拡張と、給水区域の拡大に努めてきた。平成17年度末の普及率は95.4%であり、今後も全市給水を目指し推進する。		
事業の期間(開始/終了)	昭和33年 月 / 年 月		
根拠法令、条例、規則など	水道法 結城市水道事業給水条例		
事業が対象としている人(モノ)	市内全戸の給水		
具体的な活動内容	全市給水为目标に配水管の布設工事(拡張)を進める。 区画整理事業に併せて、水道の整備を進める。		
事業の成果	未普及地域及び区画整理事業地内に飲料水の供給ができる。		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	4 依然、必要性が高い 公衆衛生の向上(地下水の汚染)文化的生活の向上を踏まえた事業は必要である。
妥当性	4 法的な問題などがあり、行政が行うべき事業である 行政側で管理・監督・指導を行う事業である。
公平性	4 目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している 街路事業(区画整理)未普及地域を整備しており、全戸加入を目的に事業を進めている。
適切性	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない 地域の要望また各事業課との打合わせを行い、事業を計画し予算の中で執行している。
有効性	4 概ね目標水準に達している 経済性と公共性の両面から、現水道事業全体の予算からは、限度の範囲と思われる。
効率性	2 効率は徐々に低くなっている(コストは若干増加している) 区画整理地内、未普及地域(非住宅密集地域)なので投資効果が表れない。

総合評価	水道事業(収支予算)の中での事業なので、事業計画が思うように進まない状況である。また、区画整理地内においては住宅等がはりついていないので、投資効果が表れず、水質に弊害が生じ住民に迷惑をかけている。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	維持継続	中長期的方向	改善(質の充実・効率化)
	説明	不採算事業(投資額に対し、収益が少ない事業)、区画整理地内の事業が主であるが、各事業課と協議をし手戻りのない事業を計画し、管網を十分検討し、水質向上に重点を置いた工事を進める。			
決定権者判断	決定内容	改善(質の充実・効率化)			
	説明	昭和60年より、全市給水为目标に給水区域の拡大を進めているが、事業実施してから、約23年が経過しているので、拡張事業の見直し、検討を行う。			